

史観第一四九冊

編集後記

『史観』第一四九冊をお届け致します。本冊には、東洋史・西洋史各二本、日本史・考古各一本、合計六本の論文を収めました。いずれも広い視野から緻密かつ実証的な検証を行った論文として学会に二石を投じる気鋭の力作です。

彙報欄には、史学会が専修進級ガイダンスの一環として三年前より開催しております「連続講演会」での講演要旨を収載しました。今年度は「わたしと歴史学、わたしと考古学」と題し、各専修の若い方々に、なぜ研究の道を選んだのか、何をどのような意識や目的をもって研究しているか、研究の面白さや辛さ等々について、率直にわかりやすく話していただきました。歴史認識に関するグランドセオリが崩壊し、歴史学の危機が叫ばれて久しくなります。しかし、それ変わる新しい認識方法も明確になっていません。歴史学とは何か、今この問いかけへの回答が歴史研究者に強く求められているなかで、歴史学に真摯に取り組む、「格闘」しておられる新進の研究者の方々のご講演は、出席者の心を打ち今後に大きな展望をもたらすものでした。

日本史学専修ではこの四月より川尻秋生（古代）・鶴見太郎（近現代）両先生を専任教員としてお迎えしました。歴史研究・教育態勢の一層の充実が図られましたことは、史学会にとってもまことにうれしいことです。なお、本冊は日本史学専修助手の戸邊秀明さんに編集を担当していただきました。厚く御礼申し上げます。

（安在邦夫）

執筆者紹介（掲載順）

尹 裕 淑	韓国高麗大学文科大学 東洋史学科非常勤講師
本間 寛 之	本学大学院博士後期課程
深澤 貴 行	本学大学院博士後期課程
藤澤 明 寛	本学文学部非常勤講師
早川 理 穂	本学文学部非常勤講師
高橋 龍 三 郎	本学文学部教授
細 谷 葵	本学文学部非常勤講師
井出 浩 正	本学大学院修士課程

平成十五年九月二十日印刷
平成十五年九月二十五日発行

史 観

第百四十九冊
定価 一千円

編集者 福 井 重 雅

印刷所 株式会社 白峰社
発行所 早稲田大学史学会

東京都新宿区戸山一―二四―一

電話東京(三三〇三)四一四一番
振替〇〇一九〇―八一四六二九